

職員による自己評価

A環境面
 新しい施設で落ち着いて過ごせる
 部屋の使い方などを試行錯誤している

B児童への支援内容
 支援内容についての話し合いを多く行った。
 支援のやり方についてその人によって違う部分もある
 児童の数が少なかったため途中で支援時間を変更した。利用児童が少なく困った。

C関係機関との連携
 相談支援や、基幹センター、周囲の園と関りをもつ
 など、新しい施設なので知ってもらえるように努力した。

D保護者への説明責任・信頼関係
 送迎がない為、毎回保護者とお話しできるのがよい。
 連絡帳でのやりとりや、口頭でのやり取りでなるべく相違がないようにした。

E非常対応
 避難訓練が毎月できなかつたのでこれからはしっかりとやってきたい。

保護者による評価

A環境面
 新しい施設で落ち着いて過ごせる環境
 やや狭いが運動もできてよい
 雨の日の送迎が大変

B児童への支援内容
 少人数なので毎回楽しんで参加している
 色々なことをやらせてもらって嬉しい
 支援の様子を連絡帳や口頭で詳しく聞ける
 途中から小集団ができて時間が長くなった

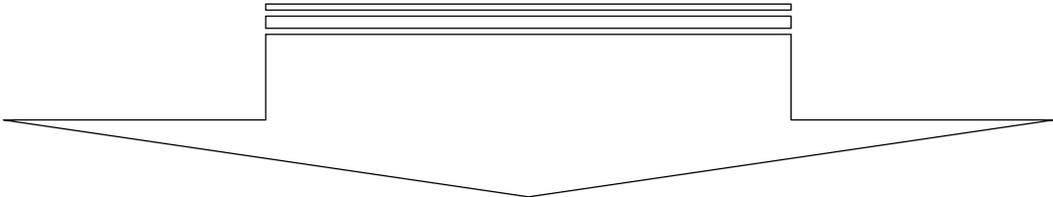
C事業所からの情報発信
 みらいダイアリーで詳しく連絡をもらえる
 月1回お手紙がある
 イベントのお知らせがあった。

D非常対応
 始めは職員の数も多かったが、徐々に減ってしまったので心配な部分もある。
 今後人が増えるとよいと思う。

事業所内での分析

【共通点】
 新しくきれいで落ち着いた雰囲気である。
 みらいダイアリーでの連絡がよい。
 毎回保護者と話ができる。
 こどもが楽しんでいる。

【相違点】
 送迎がないこと。施設としては毎回お話しができるが、保護者からすると送迎がなく大変さもある。



分析・検討してみても…

事業所の強み

- こどもの人数が少なく、落ち着いて支援ができる。
- 新しい施設できれい
- 教材が豊富
- 連絡帳や送迎時にこまめに連絡がとれる
- 職員数が少ないが、子どもについて密に話し合いが出来ている。

事業所の改善点

- 送迎がないことで利用のしにくさにつながっている。今後検討していきたい。
- 部屋が狭いので、子どもが多い日は子ども同士のトラブルもあるので、部屋を分けるなどして工夫していく必要がある。
- 利用者が増えていないため、今後増やしていく必要がある。

事業所の改善への取り組み

今のままの丁寧な支援を続けていくことができるように、支援員の募集や育成を行っていく。
利用児童数を増やすために、送迎を含め支援内容の検討もしていく。
複数児童がいるときの部屋の使い方などを検討し、ケガやトラブルがないようにしていく。
避難訓練を月に1回実施し、非常時に備える。
研修の機会を増やし支援内容を充実させていく。
イベントなどを通し、家族支援も含め地域の方が参加できるような企画をしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

一年目ということもあり、安定しない部分が多くご利用者様にもご迷惑をおかけした部分もあったかと思えます。ご利用者様の声も生かしながら、よりよい事業所になるようつとめたいとおもいます。

事業所名 ぐっと、あっと鶴見

担当者 松山 由美子